

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		読書推進事業		事業期間	平成 1 ~ 年度	整理番号	08010506					
担当部署		生涯学習課	図書館係	作成担当者名	五味 仁	連絡先	72-9085					
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む							
			施策	05	第5節 熟年期：蓄えた知識・技能を地域社会に活かす健康でゆとりとした時間を味わう							
			細施策	02	ゆとりとした時間を味わい、生涯にわたって学び続ける場を提供します							
			事務事業	03	図書館を使った生涯学習の場提供事業							
予 算 事 業 名	図書館事業推進費		会計コード	001	款	10	項	05	目	06	事業	05
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動を通じて「ひとりづくり」「まちづくり」を行っていく。</li> <li>・講座等を通じて地域の情報発信の場として、また市民の方の安らぎの場、憩いの場としての図書館づくりをしていく。</li> <li>・おはなし会などを開催して、読書の楽しみや親子のコミュニケーション（ことばとこころ）の大切さを知ってもらう。</li> <li>・市民ボランティアに活動の場の提供を行う。</li> </ul>											
現状と背景 (どうして)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活字離れが課題となり、読む力、聞く力、話す力が年齢を問わず課題となっている。人間の脳や、感情を育てていく上で肉声で伝えることが大切であるが、子どもに伝える方法を知らない親が多いし、場を求めており、年々家族みんなでの参加が多い。また、読書ボランティア活動をしている方々からの要望（勉強会・講演）が多い。</li> </ul>											
目 的	受 益 者 (誰のために)	赤ちゃんとお年寄りまでの市民及びボランティア団体。										
	対 象 (直接働きかける)	同上										
	意 図 (どんな状態にしたいか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会・講座・イベント等を通じて読む力、聞く力、話す力の大切さを知ってもらう。読書の大切さを知ってもらう。</li> <li>・ボランティア団体の活動の場や、勉強の場の提供をし、今後の活動に役立てってもらう。</li> </ul>										
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内保育園、幼稚園、小・中・高校、公共施設、大型店、読りむいんちの関係へポスターや案内チラシの配布をする。</li> <li>・市のホームページ、諏訪広域図書館情報ネットワーク、ビーナチャンネルなどの情報ツールを活用して情報を発信する。</li> <li>・図書（絵本）を通して読み聞かせだけでなく、幅広い分野（パネル・紙芝居・人形劇・親子遊び等）を取り入れる。</li> <li>・おはなしボランティア団体に発表の場として図書館を提供する。</li> </ul>											
N 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値						
		文芸講演会・各種講座の開催周知をする	配布案内チラシ数	枚数	市内保育園＋幼稚園＋小中高校＋公共施設＋読りむいんちの関係＋他市町村図書館	5,000						
		ボランティア団体の参加を呼びかける	読み聞かせ・講演・イベント開催数	回	読み聞かせ回数＋講演回数＋イベント開催数	140						
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値						
		企画参加者数を増やす	企画参加者増加率	%	今年度企画参加者数÷前年度企画参加者数×100	100						

項 目	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)		
		事業費等(a)	円	328,219	131,093	163,317	193,846	176,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
一 般 財 源	円	328,219	131,093	163,317	193,846	176,000		
職 員 数	正 規 職 員	人	0.11	0.23	0.26	0.38	0.38	
	嘱 託 職 員	人	0.11		0.34	0.34	0.34	
	臨 時 職 員	人	0.01		0.11	0.15	0.15	
	合 計	人	0.23	0.23	0.71	0.87	0.87	
	対 象 ( 者 ) 数							
延 利 用 ( 者 ) 数 (b)								
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受 益 者 負 担 額	円							
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	円	6.00	2.00	3.00	3.00	76.00		
活 動 指 標	配布案内チラシ数	目標	枚数	5,000	5,000	10,000	10,000	10,000
		実績		4,500	4,500	5,000	4,438	10,000
		達成率	%	90.00	90.00	50.00	44.38	100.00
	読み聞かせ・講演・イベント開催数	目標	回	120	120	120	140	140
		実績		116	115	131	145	140
		達成率	%	96.67	95.83	109.17	103.57	100.00
-	目標	-						
実績	-							
達成率	%	-	-	-	-	-		
成 果 指 標	企画参加者増加率	目標	%	100	100	100	100	100
		実績		90	118	98	73	100
		達成率	%	90.00	118.00	98.00	73.00	100.00
-	目標	-						
実績	-							
達成率	%	-	-	-	-	-		
備 考								

事務事業名	読書推進事業	事業期間	平成 1 ~	年度	整理番号	08010506	
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	図書館係	作成担当者名	五味 仁	連絡先	72-9085

期	目 標	実 績	課 題
第1期	おはなし会に参加した子どもにスタンプカードを渡し、各種おはなし会に10回参加した子どもたちには、職員手作りのプレゼントを用意し、新規参加者と図書館利用者のリピータ増を図る。目標150人	手作りプレゼントは折り紙など、製作数は100個作成した。 第一四半期には5人の参加者にプレゼントを渡す。	手作りのため作成に時間がかかる。また、同じ物だと次には何をもらおうかなという魅力に欠けるため、何種類かのプレゼントを用意していくが、作成に時間がかかることが課題である。
第2期	おはなし会に参加した子どもにスタンプカードを渡し、各種おはなし会に10回参加した子どもたちには、職員手作りのプレゼントを用意し、新規参加者と図書館利用者のリピータ増を図る。目標150人	第一四半期には25人の参加者にプレゼントを渡す。	手作りのため作成に時間がかかる。また、同じ物だと次には何をもらおうかなという魅力に欠けるため、何種類かのプレゼントを用意していくが、作成に時間がかかることが課題である。
第3期	おはなし会に参加した子どもにスタンプカードを渡し、各種おはなし会に10回参加した子どもたちには、職員手作りのプレゼントを用意し、新規参加者と図書館利用者のリピータ増を図る。目標150人	手作りプレゼントは折り紙など、製作数は100個作成した。 第一四半期には31人の参加者にプレゼントを渡す。	嬉しいことであるが、予想していたよりも早くスタンプカードを2枚目、3枚目になる子が多く、プレゼントの品を工夫する必要がある。
第4期	おはなし会に参加した子どもにスタンプカードを渡し、各種おはなし会に10回参加した子どもたちには、職員手作りのプレゼントを用意し、新規参加者と図書館利用者のリピータ増を図る。目標150人	第一四半期には42人の参加者にプレゼントを渡す。	手作りプレゼントの良さはあるが、カウンター業務や他の図書館業務に影響が出たことが課題である。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 課題にも上げたが、予想よりも早くスタンプカードが2枚目になる子どもがいたため、手作りプレゼントの作成をボランティアや職場体験の生徒に手伝ってもらうなど、制作方法を検討する必要がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 特になし。	② ⑤ ⑦ レ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	前年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック																A
課 題	来年以降も事業を進めて行くとするは、1人の子が貰うポイントカードの枚数は、増えて行くことは確実である。現状は1枚溜まること何かしらプレゼントをしているが、5枚、10枚とポイントカードが溜まった時のプレゼンをどうするかも検討していくことが課題である。															
記 号 の 定 義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	07010506															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	図書館利用者のリピーターが増えて行くことは、小さいときから図書館に親しむということで、大変有効な事業である。	図書館利用者のリピーターが増えて行くことは、小さいときから図書館に親しむということで、大変有効な事業である。					図書館利用者のリピーターが増えて行くことは、小さいときから図書館に親しむということで、大変有効な事業である。			
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	② ⑤ ⑦ レ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					レ 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
制作ボランティアの募集を行う。 手作りプレゼントを制作して行くとしても、多少は材料費等は掛かっていくので、予算要求をして行く。 10冊目、20冊目の子に図書館や本に関連した、少し豪華なグッズをプレゼントする。 他の施設のおはなし会との連携でのポイントカード事業の導入。	他の施設のおはなし会との連携でのポイントカード事業の導入を検討していく。									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	成人式開催事業	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	08010201
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	文化芸術係	作成担当者名	田中啓吾
				連絡先	632

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 03 第3節 青年期：若さを楽しみながら社会で活躍するための基本を身につける 細施策 02 社会参加への支援と自主活動の応援をします 事務事業 01 社会参加支援事業		
	予算事業名			会計コード 001 款 10 項 05 目 01 事業 04		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）			青年が成人したことを自覚し、自ら生き抜こうとする人生の新しい旅立ちを祝い、励ます式として開催。 市内各区長、自治会長の方々も参列するなど、地域ぐるみで新成人をお祝いする式として定着。 旧友との再会により親交を深め合う場の提供。		
	現状と背景 （どうして）			平成17年度（平成18年）まで「成人の日」に開催していたが、翌日が平日になるため、県外に転出している茅野市出身者から開催日の変更を望む声が多かった。これを受けて、平成18年度（平成19年）からは、「成人の日」の前日の日曜日に式を開催している。		
目的	受益者 （誰のために）			平成9年4月2日から平成10年4月1日に生まれた市民及び市出身者		
	対象 （直接働きかける）			同上		
手段・方法 （どうやって）	意図 （どんな状態にしたいか）			新成人が社会人として豊かな心と広い視野を持つと同時に、成人になることで生じる権利、義務及び責任を自覚してもらう。 茅野市に愛着を持ち、市や地域のコミュニティづくりの核になる社会人になってもらう。		
				主催：茅野市と茅野市教育委員会 式典：成人代表者による市民憲章の唱和や成人になっての決意表明、祝電披露など アトラクション：消防音楽隊による吹奏楽演奏、八ヶ岳泉龍太鼓の演奏 記念品：市が進める「ことばとこころを育てる読書活動」の継続を願い図書カードを贈呈（第2次茅野市子ども読書推進計画で決定） 案内方法：対象者に案内状を送付するほか、広報誌や市のホームページで周知 その他：記念写真の撮影、成人者保管作品展の開催		
評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	活動指標	新成人の参加	新成人への周知	人	新成人への案内状発送件数	600
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		新成人の成人式への参加	成人式出席率	%	出席者/対象者×100	80

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	563,999	535,128	453,747	343,897	526,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円	563,999	535,128	453,747	343,897	526,000		
職員数	人							
正規職員	人	0.35	0.35	0.35	0.25	0.25		
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.35	0.35	0.35	0.25	0.25		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	10.00	10.00	8.00	6.00	43.00		
活動指標	新成人への周知	目標	人	630	590	627	665	600
		実績	人	630	590	627	665	600
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	目標	-	-	-	-	-	
-	実績	-	-	-	-	-		
-	達成率	-	-	-	-	-		
成果指標	成人式出席率	目標	%	80	80	80	80	80
		実績	%	65	69	68	64	68
	達成率	%	81.25	86.25	85.00	80.00	85.00	
	-	目標	-	-	-	-	-	
-	実績	-	-	-	-	-		
-	達成率	-	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	成人式開催事業	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	08010201
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	文化芸術係	作成担当者名	田中啓吾	連絡先
						632

期	目標	実績	課題
第1期	昨年度の反省を踏まえ、式典の内容を決定。	成人式の日時、会場、内容を検討し決定、庁内関係部署への周知を行った。	広報・ホームページでの周知について検討する。
第2期	対象成人者の名簿、宛名シール作成。広報ちの、ホームページへ掲載し周知を行う。式典の出演者への出演依頼を行う。	名簿及び宛名シールの作成。出欠確認はがきの作成。広報ちの11月号に記事を掲載。ホームページ原稿作成。消防音楽隊、泉柳太鼓に出演依頼。	成人ボランティアの募集方法を検討。しおりの掲載内容、表紙デザインを検討。
第3期	通知を発送し、出欠席を把握する。成人ボランティアの募集。来賓招待者へ通知を発送。	成人該当者665名に通知を送付し出欠席を把握。ボランティア名の役割分担を決定。来賓、招待者へ通知を発送。	参加受付締切後の受付が増加傾向にある。
第4期	庁内関係者の打ち合わせ会を実施、役割分担の確認。袋づめ作業の実施。平成30年1月成人式の開催。	平成30年1月7日(日)に成人式を開催。成人出席者425名、出席率63.81%(前年4280名、68.26%)	今年度申し込みはがきに「成人の決意」記入欄を設けた。活用方法を検討していく。

事中評価																															
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方</td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今	成果の方向性	②	⑤	⑦	後	現状維持	③	⑥	⑨	の	縮小	④	⑧	⑩	方	休廃止	①			向					性				
今	成果の方向性	②	⑤	⑦																											
後	現状維持	③	⑥	⑨																											
の	縮小	④	⑧	⑩																											
方	休廃止	①																													
向																															
性																															
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 新たにSNSを活用した情報発信等周知を工夫し、出席者の増を図る。	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																														

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック					4					4					4	
課題	近年、高校卒業後に進学等のため市外へ移る若者が多くなっている。しかし、地元(茅野市)で成人式に参加を希望する方が多いため、開催情報が広く伝わるように工夫をしていきたい。新成人のニーズを把握しつつ、市全体でお祝いする意義が伝わるような工夫をしていきたい。式典の前後のロビーの混雑解消の方策を検討する。															記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 07010201

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	次世代の茅野市を担う若者のため、本事業は継続していくことが望ましい。成人式参加率80%を目標に事業を継続させることが必要であり、目標達成のためのPR、周知方法を充実させ、多くの方に参加してもらう工夫が必要である。今年度使役の打ち合わせと袋づめ作業を別日程としたことにより、早期の準備が可能となりスムーズに進めることができた。	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性			

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後																																																				
	受付時のロビーの混雑解消と速やかな着席を促すため、受付と入場口を中学校区事ことに分け、丁寧な声掛けを行ったところスムーズな入場が可能となった。引き続き実施していくこととしたい。ボランティアの希望者も多くあるため、成人者と協力して式典を運営していくために適切な打ち合わせを行う。今後とも広く周知を行い成人者の参加意識を高めていくことが大切である。	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					成果の方向性	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①											<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					成果の方向性				現状維持			レ	縮小				休廃止										
成果の方向性	②	⑤	⑦																																																							
現状維持	③	⑥	⑨																																																							
縮小	④	⑧	⑩																																																							
休廃止	①																																																									
成果の方向性																																																										
現状維持			レ																																																							
縮小																																																										
休廃止																																																										
受付時のロビーの混雑解消と速やかな着席を促すため、受付と入場口を中学校区事ことに分け、丁寧な声掛けを行ったところスムーズな入場が可能となった。引き続き実施していくこととしたい。ボランティアの希望者も多くあるため、成人者と協力して式典を運営していくために適切な打ち合わせを行う。今後とも広く周知を行い成人者の参加意識を高めていくことが大切である。	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																																																				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤森隆
---------	------------	---------	--------	-----

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	人権教育関係事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	08010103				
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	作成担当者名	伊藤 研一			連絡先	633				
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む							
			施策	03	第3節 青年期：若さを楽しみながら社会で活躍するための基本を身につける								
			細施策	02	社会参加への支援と自主活動の応援をします								
			事務事業	01	社会参加支援事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	10	項	05	目	01	事業	05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市民一人ひとりが人権感覚を磨き、部落差別をはじめとするあらゆる差別と偏見をなくし、自ら進んで、差別のない明るく心豊かな住み良いまちづくりを目指し、自主的、組織的な学習活動の推進を図る。											
	現状と背景 （どうして）	近年、国際化、情報化等の社会の急激な変化により人権問題は多様化しているため、今後、互いの人権を認め合い、一人ひとりが自ら人権尊重の精神を育むための教育・啓発がますます重要になるため。											
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民一人ひとり										
		対象 （直接働きかける）	同上										
		意図 （どんな状態にしたいか）	基本的な人権が保障され、偏見や差別をなくし、国籍、性別、障害者、さらには子どものいじめなどあらゆる差別を許さない、相互理解に立った人間性豊かな社会にする										
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年7～8月に市関係部課長、市内小中高等学校長、保育所代表者の参加により茅野市人権教育推進委員会を開催し、当該年度の各部署の人権に関する取り組みを確認する。また、県から人権担当者を招き、県の人権に関する取り組みについても確認する。</li> <li>・毎年1～2月に広く市民一般を対象に茅野市人権教育研修会を開催し、様々な人権問題への意識高揚を図る。</li> <li>・その他、公民館の講座等、生涯学習の様々な機会を通しての人権教育を推進している。</li> </ul>											
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		茅野市人権教育研修会への参加促進	研修参加者数	人	会場の8階大ホールにイスを配置した際の標準的な収容人数から目標値設定				150				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		茅野市人権教育研修会参加者数	参加率	%	参加者数 / 150 × 100				90				

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	43,200	5,000	5,000	4,958
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	一般財源	円	43,200	5,000	5,000	4,958	5,000	
	正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	1.00	0.00	0.00	0.00	27.00	
	活 動 指 標	研修参加者数	目標	150	150	150	150	150
			実績	160	160	160	150	150
			達成率	106.67	106.67	106.67	100.00	100.00
成 果 指 標	参加率	目標	90	90	90	90	90	
		実績	107	107	107	107	107	
		達成率	118.89	118.89	118.89	118.89	118.89	
備 考	—	目標	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	

事務事業名	人権教育関係事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	08010103
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	作成担当者名	伊藤 研一	連絡先	633

期	目 標	実 績	課 題
第1期	県主催の市町村担当者会議や研修会に参加し、他市町村の社会人権教育に関わる施策や事業を把握する。また、県の社会人権教育の平成29年度の方針を確認し、茅野市の事業に活かす。	第1回市町村社会人権教育担当者会議、県社会人権教育研修会に出席し、他市町村の平成29年度の取り組みについて情報交換を行った。	社会人権教育の施策、事業は、地域性を活かして進める必要があり、今後も積極的に会議、研修会に参加し、他市町村での取り組みについて情報交換を行う必要がある。
第2期	茅野市人権教育推進委員会を開催し、茅野市で人権教育に関わる部署間での平成29年度事業方針の確認、情報交換を行う。また、人権に関わる研修会に参加し他市町村と情報交換を行う。	長野県教育委員会主催の各種研修会、講演会の参加	社会人権教育の施策、事業は、地域性を活かして進める必要があり、今後も積極的に会議、研修会に参加し、他市町村での取り組みについて情報交換を行う必要がある。
第3期	茅野市人権教育研修会に向けての、各機関との連絡調整をおこなう。	平成30年度の事業の検討・予算要求 長野県教育委員会主催の各種研修会、講演会の参加 茅野市人権教育研修会の要項等の作成	社会人権教育の施策、事業は、地域性を活かして進める必要があり、今後も積極的に会議、研修会に参加し、他市町村での取り組みについて情報交換を行う必要がある。
第4期	茅野市人権教育研修会に向けての、各機関との連絡調整をおこなう。 平成30年度の事業の検討	茅野市人権教育研修会の開催	社会人権教育の施策、事業は、地域性を活かして進める必要があり、今後も積極的に会議、研修会に参加し、他市町村での取り組みについて情報交換を行う必要がある。

事 中 評 価						
の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 研修会の内容について、他市町村の取組や県の研修会の参加等、情報収集しマンネリ化しないよう、研修内容の更新に努める必要がある。	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題 （ C H E C K ）	茅野市の現状や時代にあったテーマを研究し、参加者が人権について考えるきっかけとなるような内容を扱えるようにする。	記 号 の 定 義  A：計画どおり事業を進めることが B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要  前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 07010103	
	前年度改革・改善策の実施状況		実施済
	前年度細施策評価における今後の方向性		

細 施 策 評 価 前						細 施 策 評 価 後					
行政はあらゆる機会をとらえて様々な人権問題に関心を高める環境づくりに積極的に取り組む必要がある。 茅野市の人権教育は、時代にあったテーマや実施内容を工夫している。こういった変化をつける機会も作りながら興味関心を高めていきたい。						行政はあらゆる機会をとらえて様々な人権問題に関心を高める環境づくりに積極的に取り組む必要がある。 このように時代にあったテーマを工夫している。今後も社会状況を分析し興味関心を高めていきたい。					
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性					

細 施 策 評 価 前						細 施 策 評 価 後					
改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦	改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	成 果 的 拡 充				
	現 状 維 持		③	⑥	⑨		レ				
	縮 小		④	⑧	⑩						
	休 廃 止	①									
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

茅野市人権研修会の講師については人権啓発相談員等をお願いし経費の削減に努めている。内容、時代にあった講演内容に対応していくために、講師の選定に工夫が必要である。	茅野市人権研修会の講師については、人権啓発相談員等をお願いし経費の削減に努めている。内容、時代にあった講演内容に対応していくために、講師の選定に工夫が必要である。
--	---

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------